

# Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



ご参加ありがとうございます。  
15時から開始します。  
もうしばらくお待ち下さい。

# Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



オンライン説明会

2021年7月9日(金)15時～16時半

## 7月9日 Urban Innovation TOYONAKA 説明会の流れ

時間	内容	登壇者
15:00～15:10	事業概要説明（10分）	創造改革課
15:10～15:25	Urban Innovation TOYONAKA事業説明（15分）	事務局
15:25～15:45	各課題説明（各3分）	
	避難に支援が必要な市民への迅速な情報発信と安否確認	危機管理課
	道路情報が詰まったGISデータをもっと活用し、安全安心なまちづくりに活かしたい！	基盤管理課
	小中一貫校開校に向け、非認知能力を育む教育カリキュラムをつくりたい！	教育委員会事務局
	「もったいない」の心で創る循環型社会の実現	家庭ごみ事業課・事業ごみ指導課
	労働環境の改善から、QOL向上へ！早期相談につながる新たな広報手段の開発	くらし支援課
15:45～16:30	各テーマごとに質疑応答（ブレイクアウトルーム）	



豊中市  
Toyonaka City

都市経営部 創造改革課

# 豊中市のご紹介



人口／約40万人 <中核市>  
面積／36.6 km<sup>2</sup>

豊中市にある大学



大阪大学  
大阪音楽大学

## 豊中市への交通アクセス



大阪国際空港



阪急宝塚線 大阪モノレール  
北大阪急行線



名神高速道路 中国縦貫自動車道など



# 豊中市の魅力・特徴



## 教育文化都市

小中学校ではICT教育を進めるため2020年度に1人1台タブレット端末を導入



## 救命力世界一

救命講習修了者・救急隊・救急救命士数の面積割合が全国トップレベル



## 高校スポーツ発祥の地

夏の全国高校野球大会の前身である野球大会が豊中グラウンドで初めて開催



## 音楽あふれるまち

服部緑地に本拠地を置く日本センチュリー交響楽団や大阪音楽大学と連携

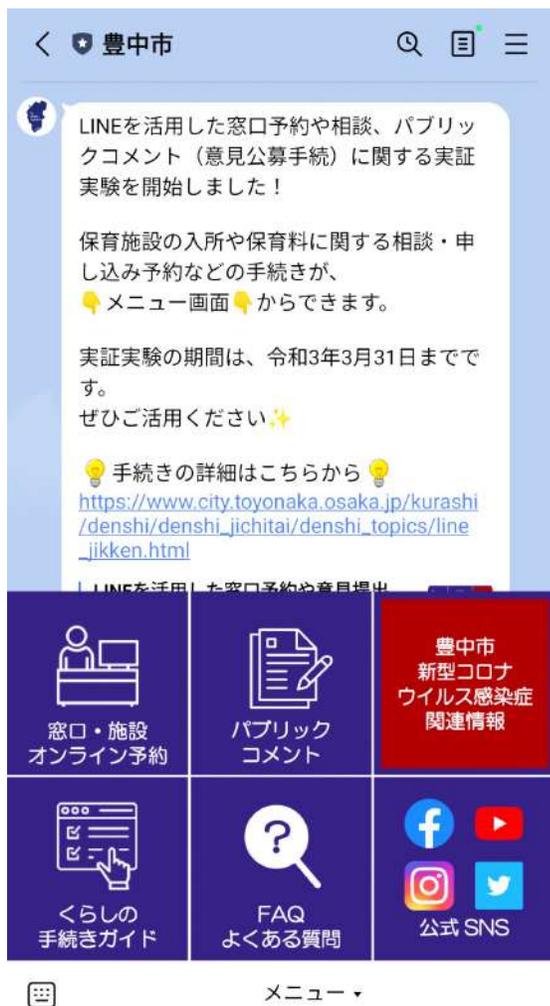


## 良質な住環境

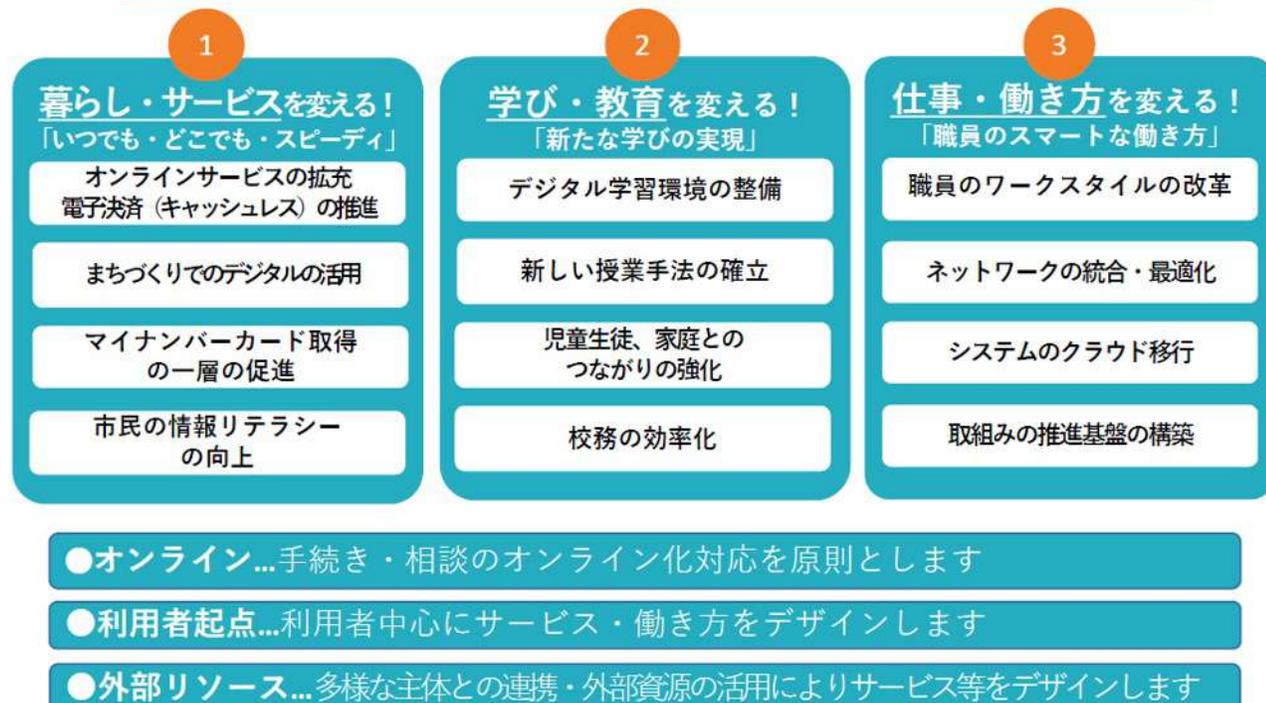
全国的な人口減少の中「住まうまち」として選ばれ人口は微増傾向に

# 市長のデジタル・ガバメント宣言を受け 「とよなかデジタル・ガバメント戦略」を策定

R2 (2020) 9月



## デジタルで価値創造と変革 = 「Reとよなか※」



※「Reとよなか」は、デジタル技術により、社会課題を解決しつつ新たな価値を創り出し、サービス・しくみ・仕事のあり方を変革していく 有様を表しています

## LINEを活用した窓口予約や意見公募手続きに関する実証実験

- 保育施設の入所入園・保育料に関する相談・申込み
- オンライン相談 (ZOOM) も利用可能

R3 (2021) 1月



- 予算化・事業化に至っていないものの行政として解決したい地域課題は数多くある
- 行政の困りごとを発信し、課題解決に繋げる

協働の力で解決したい  
地域課題を庁内で募集



# 今年度募集する課題 5件



避難に支援が必要な市民への迅速な情報発信と安否確認

危機管理課

#まちづくり #防災



「もったいない」の心で創る循環型社会の実現

家庭ごみ事業課・事業ごみ指導課

#環境



道路情報が詰まったGISデータをもっと活用し、安全安心なまちづくりに活かしたい!

基盤管理課

#まちづくり #住宅・都市  
#建設・土木



小中一貫校開校に向け、非認知能力を育む教育カリキュラムをつくりたい!

教育委員会事務局 学校教育課

#教育委員会



労働環境の改善から、QOL向上へ! 早期相談につながる新たな広報手段の開発

くらし支援課

#保険・福祉・介護

Urban Innovation TOYONAKA / アーバンイノベーション豊中として  
協働で課題解決をめざすパートナーを募集

# ご応募お待ちしております！

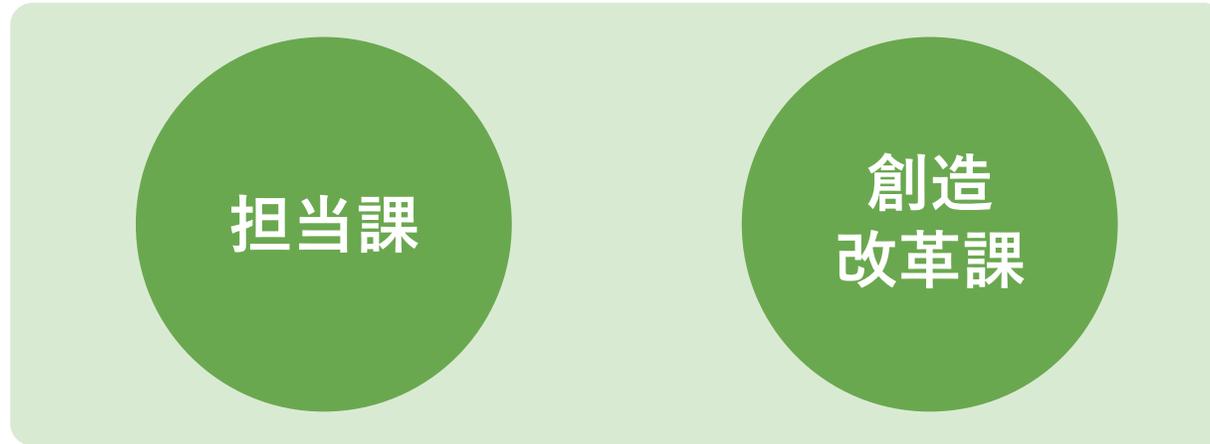


# Urban Innovation TOYONAKA

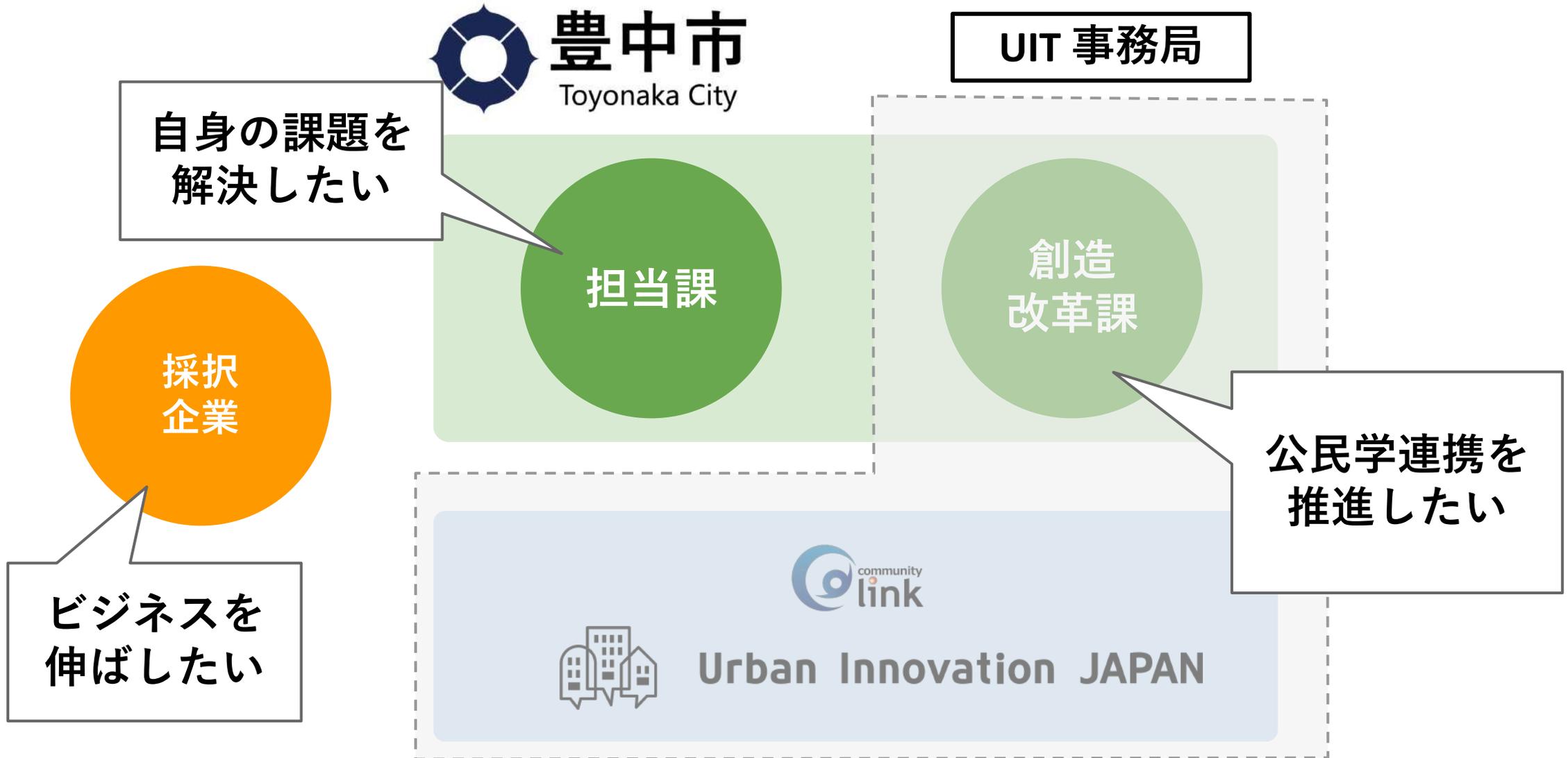
スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



# プロジェクト実施体制

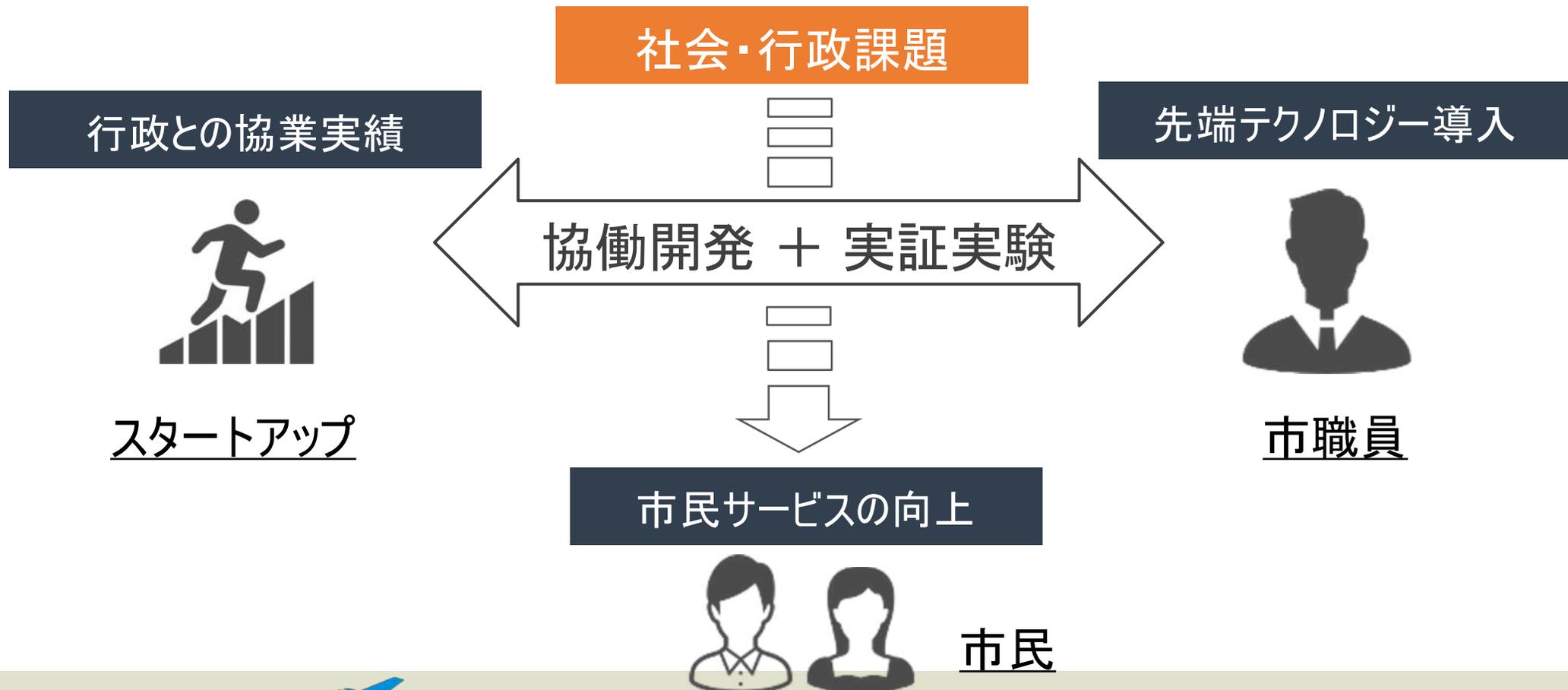


# プロジェクト実施体制



# Urban Innovation TOYONAKAとは？

スタートアップと市職員が協働して  
行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、  
スタートアップの成長と市の課題解決を目指す取り組み



# Urban Innovation TOYONAKAの進め方

## 庁内課題募集



現場担当課の職員が手を挙げて、プロジェクトがスタート。

1ヶ月半程度

## スタートアップ募集・選定



企業・スタートアップが興味を持ちそうなテーマ、市として進めたいテーマを選び、ウェブサイト公開。スタートアップの募集・選定を行います。

2ヶ月程度

## 実証実験



約4か月の協働期間で開発と実証実験を実施。解決策の有効性を検証します。

4ヶ月程度

## 製品化・本格導入



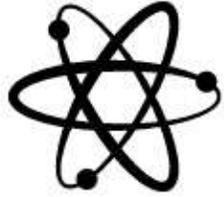
実証実験の結果を踏まえ、本格導入可否を判断します。さらにUIJが、他自治体への展開もサポート。

できるだけ早く

# 実施スケジュール



# Urban Innovationで実現できること



テクノロジーの実証  
社会実装



社会課題解決と  
ビジネスの両立



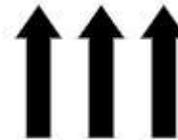
GovTech市場への展開



ユーザーニーズの発見



地域・自治体との  
パートナーシップ



自社サービスの認知UP  
信頼獲得

自治体や行政の課題へのハードルを下げ、挑戦する人を増やしていきます。

# 3つのサポート



実証補助 最大30万円/課題



実証フィールドの提供



行政職員とUIJの  
プロジェクトサポート

# 協働期間の流れ

## 1ヶ月目

方向性の決定  
・週一度程度の  
打ち合わせ  
(+宿題)

- ・ 実証実験のゴールの決定
- ・ 週一回のミーティング
- ・ データ収集、市民へのインタビュー、現場視察など実施

## 2ヶ月目

α版の開発  
・アイデアの  
ブラッシュアップ

- ・ スタートアップによる開発
- ・ テストの調整
- ・ プレスリリース準備

## 3ヶ月目

β版の開発  
・使いやすさの向上  
・デザイン・UIの改善

- ・ スタートアップによる開発
- ・ テストの調整
- ・ プレスリリース準備

## 4ヶ月目

ユーザテスト  
・実用性の確認  
実証実験  
・庁内調整・広報

- ・ 実証実験の立ち会い
- ・ データ調査、アンケート
- ・ 報告書作成





# Urban Innovation JAPAN

スタートアップと行政職員が協働する課題解決プロジェクト



# Urban Innovation Japanの広がり

Urban Innovation JAPANは神戸市から生まれ、  
日本全国の自治体の課題とスタートアップ・民間企業をマッチングする  
オープンイノベーション・プラットフォームです。



参加  
自治体数

**12** 累計



課題  
掲載数

**92**件 累計



実証実験後  
の導入率

**40%** 以上

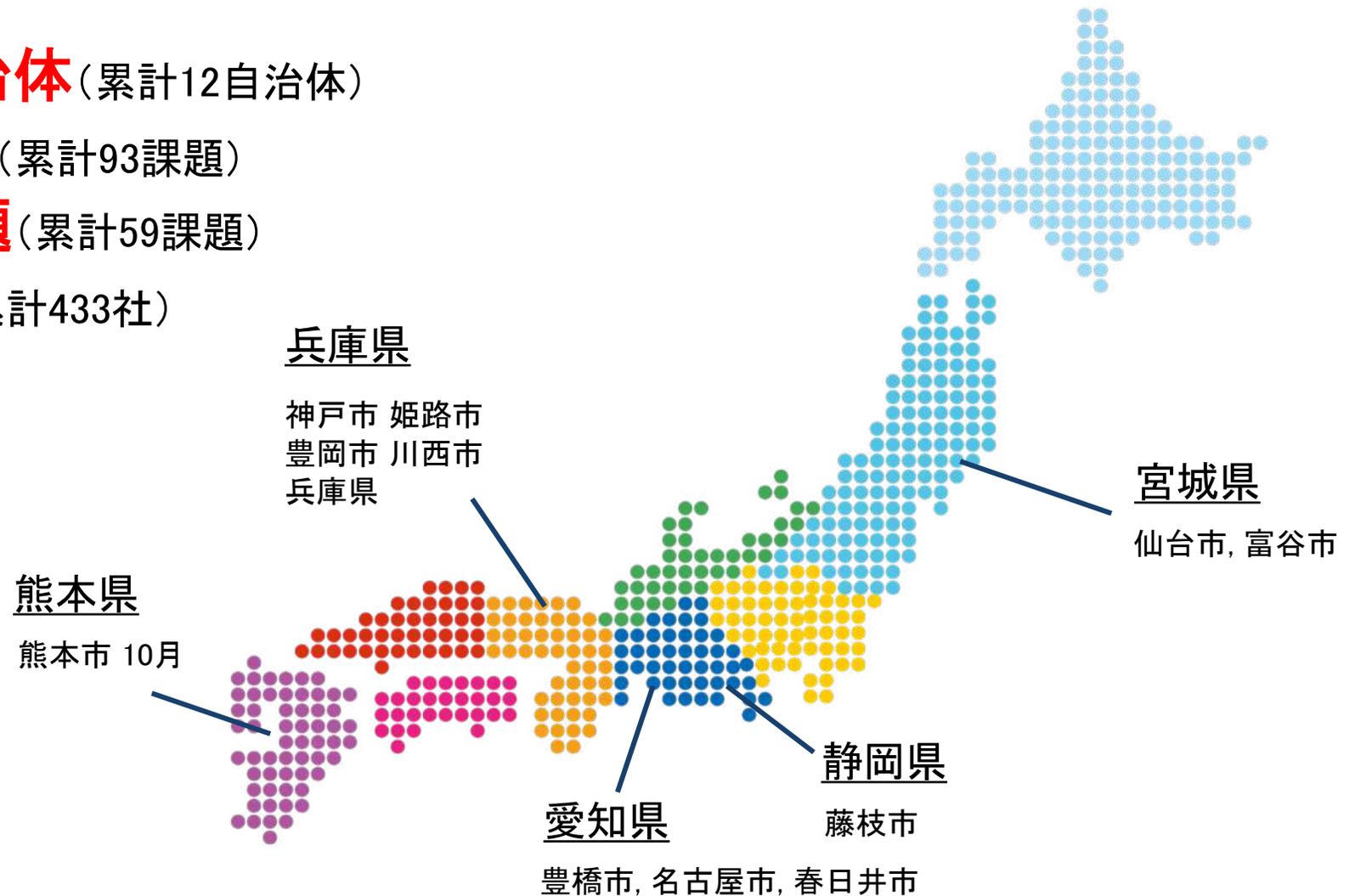
# 昨年度の展開

参加自治体数: **11自治体** (累計12自治体)

募集課題数 : **56課題** (累計93課題)

実証実験件数: **31課題** (累計59課題)

応募総数 : **229社** (累計433社)



# こんな企業のご応募をお待ちしています！

本気で社会をよくしたいと思っている

地域・行政関係で新しいビジネスを作ろうとしている

リスクをとって事業拡大を目指している



豊中市  
Toyonaka City

# 避難に支援が必要な市民への 迅速な情報発信と安否確認

豊中市危機管理課



# 1.解決したい課題、実現したい未来

## 災害時に自力での避難が難しいと思われる方のうち、特に支援が必要な方（避難行動要支援者）の生命・身体を守りたい

### ＜＜現状＞＞

- ・避難行動要支援者の避難のためには、地域全体の協力が不可欠であるため、現在、地域ボランティア（避難支援等関係者）の協力を得て、避難行動要支援者約13,000人への安否確認を行う仕組みで運用しているが、発災時には、地域ボランティア自身も被災し、身動きがとれない可能性もある。



## ★避難行動要支援者の安否確認及び避難支援について 地域・福祉事業者・行政が連携した体制の構築と 運用の強化



阪神淡路大震災時の避難所の様子

## 2.これまでの取り組み(経過)

- 平成 7年1月 : 阪神・淡路大震災で府内最大の被害を経験
- 平成14年度 : 豊中市重度障害者等安否確認事業を開始
- 平成23年4月 : 豊中市災害時要援護者安否確認事業に名称変更
- 平成25年3月 : 豊中市災害時要援護者避難支援プラン(全体計画)を策定
- 平成28年3月 : 豊中市避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)を策定
- 平成28年度 : **防災・福祉ささえあいづくり推進事業**を開始(運用に向けた地域及び庁内調整)
  - ※校区毎の説明会、アンケート調査等
- 平成29年度 : 同事業を実施(運用)
  - ※意見交換会、41校区毎に協定締結、研修会、名簿提供、訓練の支援
- 平成30年度 : 同事業を実施
  - ※意見交換会、研修会、避難行動要支援者名簿管理システム構築、名簿提供、訓練の支援
- 令和元年度 : 同事業を実施
  - ※研修会、避難行動要支援者名簿管理システムの運用、名簿提供、訓練の支援
- 令和 2年度 : 同事業を実施
  - ※避難行動要支援者名簿管理システムの運用、名簿提供、訓練の支援

## 2.これまでの取り組み（防災・福祉ささえあいづくり推進事業の仕組み 平時）〇〇課



《《平時》》

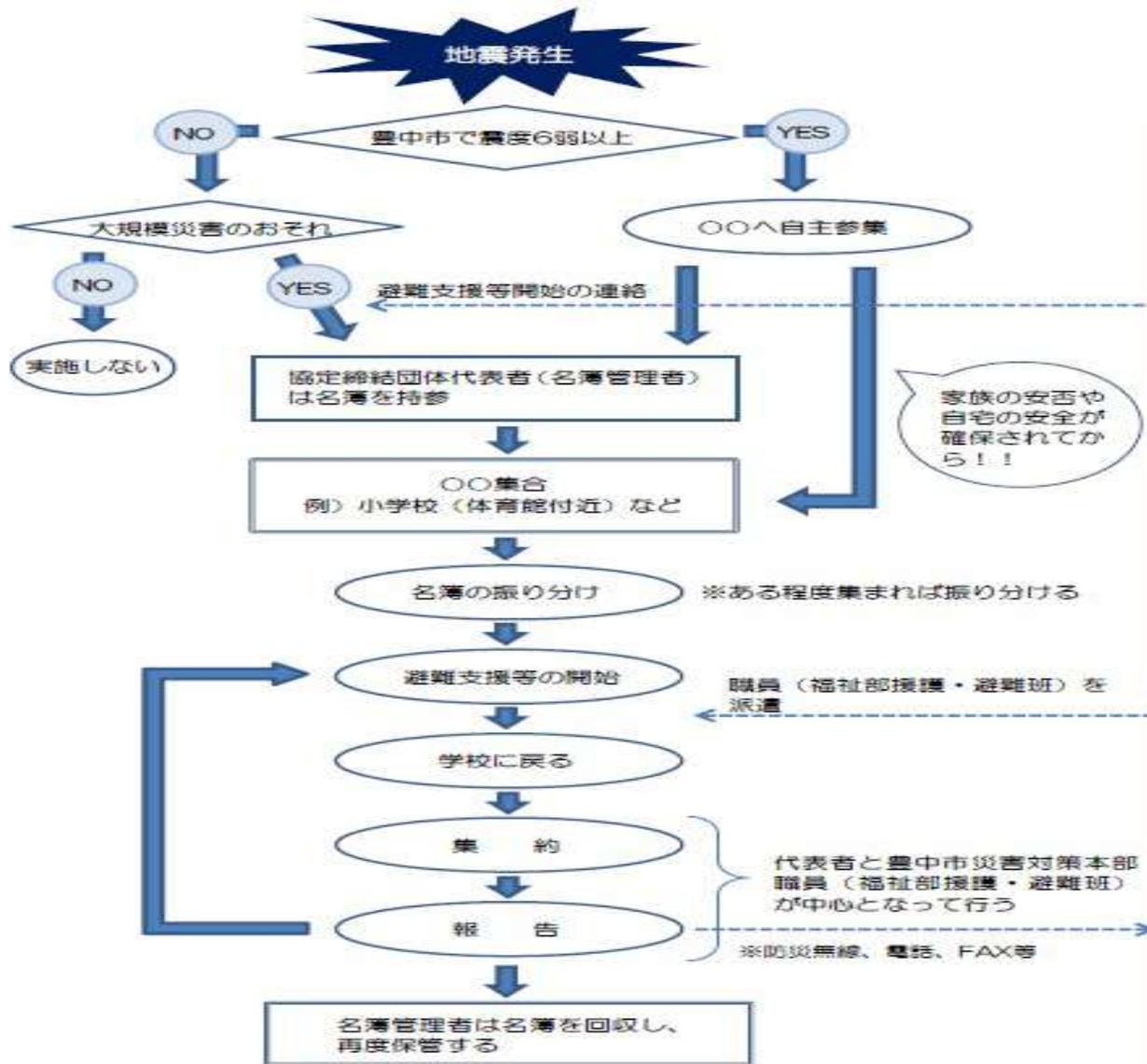
平常時の福祉活動やコミュニティ活動を通じて地域内で避難行動要支援者と「顔の見える関係づくり」を進めておく

- 避難支援体制の構築
- 図上・実地訓練の実施

災害時とは、

- ① 市内で震度6弱以上の地震が観測された場合
- ② 大規模災害が発生し、またはその恐れがあると市長が判断し、災害応急対策のため災害対策本部が設置され、避難支援等関係者により避難支援等を行う必要があると判断された場合

## 2.これまでの取り組み（防災・福祉ささえあいづくり推進事業の仕組み 災害時）



### ＜災害時＞

- ・避難支援等関係者には、身の安全を確保しつつ、また周囲の人たちに協力を求めながら地域の助け合い（共助）としての避難支援等にあたっていただく
  - ※避難支援等はあくまでもできる範囲で自分の身に危険がない程度
  - ※震度6弱以上で自動スタート
- 各校区の小学校の体育館付近に集合
  - 避難支援等関係者がいる程度集まれば、名簿管理者は名簿をもとに地区分け
  - 安否確認や避難支援等に向かう
  - 避難所内においても情報収集
  - 避難支援等を行う場合、危険な場合は無理な活動は行わず、公的機関へ救助の要請
  - 豊中市災害対策本部職員へ報告

豊中市  
災害対策本部

## 発災時の

①情報伝達 ②安否確認 ③避難支援 のいずれかを、  
迅速・効率的に行うことができるソリューションについて  
実証したい。

《具体的には・・・》

- ・ 校区単位で実施される訓練時に、試験的に導入
  - ※避難支援等関係者及び避難行動要支援者の  
意見を吸い上げて検証
  - ※実証実験においては、1～2校区をモデル校区  
に選定（コロナ禍を踏まえて要調整）



図上訓練の様子

# 4.実証実験で達成したいゴール

## 〇発災時の安否確認及び避難支援の迅速・効率化

### ①情報伝達

\* 「市が発令する避難情報」や「市からの伝達事項等」を避難行動要支援者及び避難支援等関係者へ迅速かつ確実に伝達

#### 【避難行動要支援者】

- ・ 「立退き避難」か「屋内安全確保」を自らで判断（避難行動の選択）

#### 【避難支援等関係者】

- ・ 「地域と市」及び「地域内」の連携強化（情報伝達及び相互の情報交換の効率化）

### ②安否確認

\* 安否確認情報の迅速かつ効率的に集約

#### 【避難行動要支援者】

- ・ 市が配布する「無事ですシート」の掲示

#### 【避難支援等関係者】

- ・ 避難行動要支援者の安否情報の収集（避難支援等関係者の負担軽減策）
- ・ 市へ安否確認情報を報告（避難支援等関係者の負担軽減策）

#### 【市】

- ・ 各校区からの安否確認情報を集約し、避難行動要支援者名簿管理システムと突合

### ③避難支援

#### 【避難行動要支援者・避難支援等関係者】

- ・ 安全に校区の拠点避難所へ避難

#### 【市】

- ・ 避難状況の把握





豊中市  
Toyonaka City

道路情報が詰まったGISデータをもっと活用し、安心・安全なまちづくりに活かしたい！

豊中市基盤管理課



## 疑問

いろんな業務にGISを使い、たくさんのデータが詰まっているけど、データを見ているだけで、果たして有効活用できているのか・・・？

## そこで・・・

今、世界にはいろんなデータが存在している。

リアルタイムなデータ

オートマチックに取得できるデータ・・・

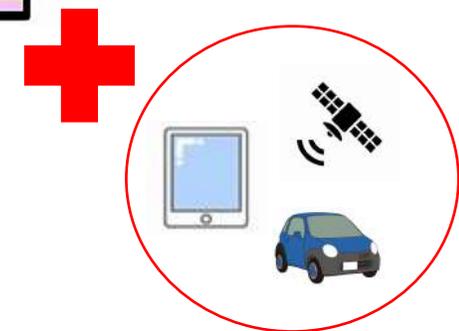
これらと組み合わせ、なにかできないか・・・

新しい技術を見つけられないか・・・

豊中市GIS



ビッグデータ



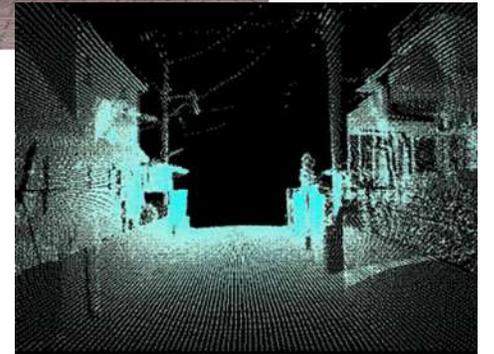
## 2.これまでの取り組み

豊中市ではGISをはじめ、様々な土木技術を先進的に取り入れてきました！！

平成8年 業務にGISを取り入れる

平成21年 公共測量にMMS(Mobile Mapping System)を採用

同年 新技術のGPS測量を採用(FKP測量)



### 3.今回取り組みたいこと

- みなさまがどのようなデータをお持ちか知りたいです。
- 豊中市が所有する情報を知っていただきたいです。
  
- これらを組み合わせて、なにか新しいことができないか、一緒に考えたいです！！！！

例えば・・・

みんなが運転している車から情報を取得し、自動的に道路の損傷箇所、危険箇所を取得し、道路維持管理に役立てられないか

## 4.実証実験で達成したいゴール

特にこの実験でゴールというものは定めていません。

一緒に仕事をしながら、できることを見つけ、  
一緒にゴールを考えたいです。

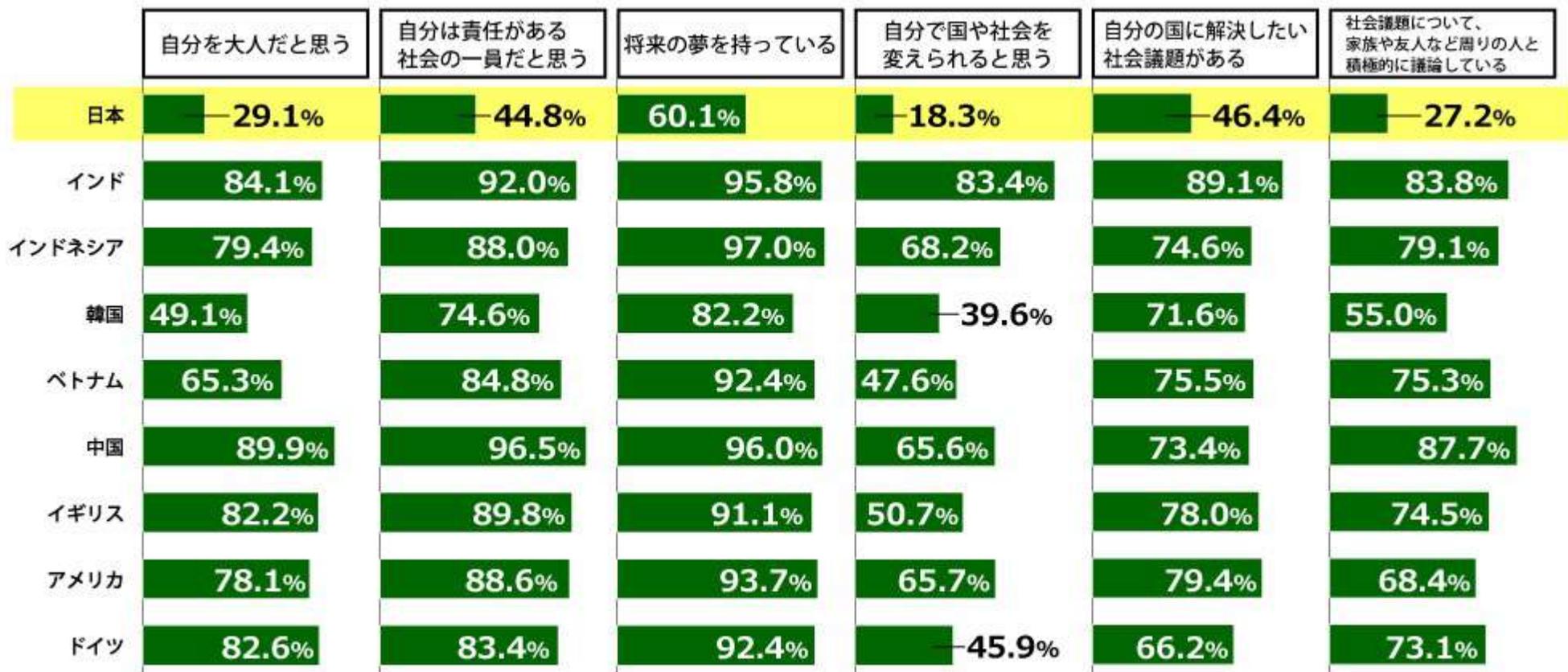


小中一貫校開校に向け、非認知能力を育む  
教育カリキュラムをつくりたい！

教育委員会事務局学校教育課

# 1.解決したい課題、実現したい未来

すべての子どもたちが、自尊心やコミュニケーション能力、**非認知能力**を身に着けることで、自分に**自信**を持ち、**将来の夢や目標**を持てること。



出典：日本財団 18歳意識調査「第20回 -社会や国に対する意識調査」 2019.11



## 2.これまでの取り組み



庄内地域に  
豊中市初の  
義務教育学校(2校)が  
開校します  
～やり抜くことで世界にはばたこう～

「義務教育学校」ってなに？

- 学校教育法で定められた新しい学校の種類です。
- 一人の校長のもと、すべての教職員が一体となって、「めざす子ども像」などを共有し、1年生から9年生までの義務教育9年間で一貫した教育課程を編成・実施します。
- 9年間を見通して、発達段階に応じた柔軟な学年段階の区切りを設定したり、独自の小中一貫教科を設定したりすることができます。

【これまでの経過】

○庄内地域の小・中学校では、小規模校化が進行し、人間関係の固定化や教育活動の制約などの課題が深刻化しています。また、家庭事情を背景とした生活・学習課題に直面している子どもたちもいます。

○こうした課題を解消するためには、多様な出会いの中で、さまざまなものの見方や考え方、価値観に触れることができるように一定の学校規模を確保するとともに、義務教育9年間の学びを意識した指導や教育活動の工夫などに取り組み、教育内容の質的充実を図ることが求められています。

○そこで、庄内地域の実情に応じた教育効果を得られる最善の方策として、既存の小学校6校と中学校3校を施設一体型の義務教育学校2校に再編する「庄内地域における「魅力ある学校」づくり計画」を平成29年(2017年)8月に策定しました。

## 令和5年度に新しい9年制の義務教育学校が開校します！

### (2) 9年間(前期課程6年・後期課程3年)の接続をなめらかにします

全国的な傾向として、子どもの身体の発達が2～3年ほど早くなっていたり、中学生になると不登校や問題行動の発生率が大きく増加したりしています。

義務教育9年間を通じて一貫性のある指導を行うとともに、学年段階を「4年-3年-2年」の3段階に区切り、指導区分ごとに「つきたい力」や具体的な「目標」などを設定し、各段階に応じた教育活動の工夫や充実を図ることで、「確かな学力の向上」や「豊かな人間性の育成」などを図ります。



指導区分	第1ステージ				第2ステージ			第3ステージ	
学習指導	学級担任を中心としたきめ細かな指導				教科担任制の導入			進路を見据えた学習指導の充実	
生徒指導	義務教育9年間を見通した系統的で一貫性のある学習指導・生徒指導								
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育課程	小学校の学習指導要領を準用【前期課程】						中学校の学習指導要領を準用【後期課程】		

### 3.今回取り組みたいこと

世の中にある資源（情報、ツール、人材）をできる限り活用し、論理的に考察・検証し、解決方法を提案する能力をはぐくむ教育プログラムを作成し、モデル事業を実施する。



## 4.実証実験で達成したいゴール

教育委員会事務局学校教育課

生き方（キャリア教育）や非認知能力の育成、ICTを活用した教育などをテーマにしたモデル授業の実施による義務教育9年間を通じた一貫性のある教育カリキュラムの策定へとつなげたい。

**新しい時代に生きる力を育む授業アイデアをお待ちしています**



豊中市  
Toyonaka City



# 「もったいない」の心で創る 循環型社会の実現

豊中市家庭ごみ事業課・事業ごみ指導課



## 解決したい課題

- ・リユース子ども服の有効活用
- ・飲食店での食べ残し（食品ロス）の削減

## 実現したい未来

- ・市民が気軽に環境にやさしい活動に参加できる仕組みを作ること、資源の有効活用とごみ減量についての意識向上を目指したい。



- ・こども園から集めたリユース子ども服をイベント等で市民に配布

年度	イベント回数	参加人数	配布数
H29	2	697	4,596
H30	4	955	5,230
R元	2	637	4,346
R 2	3 (市HPに画像を掲載し抽選)	124	732



- ・R2年度以降はコロナの影響によりイベント開催できていない  
現在の在庫は約4,000点





- ・ 地域団体や市民と連携できるようなマッチングアプリの開発  
市内で開催される幅広いイベントで、リユース子ども服を活用できる  
仕組みや管理の負荷を軽減する仕組み作り
- ・ 飲食店での食べ残しの持ち帰りを気軽に導入できる仕組み作り  
飲食店における実証実験の実施（素材の検討や周知）
  - ①持ち帰りのオーダー数
  - ②食べ残しの品目や量の確認
  - ③アンケートの実施等



- 地域におけるリユース子ども服の循環をスムーズに行う仕組み作りや、飲食店での食べ残しの持ち帰りを気軽に導入できる仕組み作りを通じて、市民に身近な地域循環を推進し、資源の有効活用やごみ減量についての意識向上を目指したい！

# 労働環境の改善からQOL向上へ！

早期相談につながる  
新たな広報手段の開発

豊中市暮らし支援課

# 1.解決したい課題、実現したい未来

- 早期相談につながる新たな「広報」手段の開発  
    広報：単なる周知に留まらない、行政との関係性の構築

< 困った時に支援してくれる、支援制度につないでくれる存在例 >

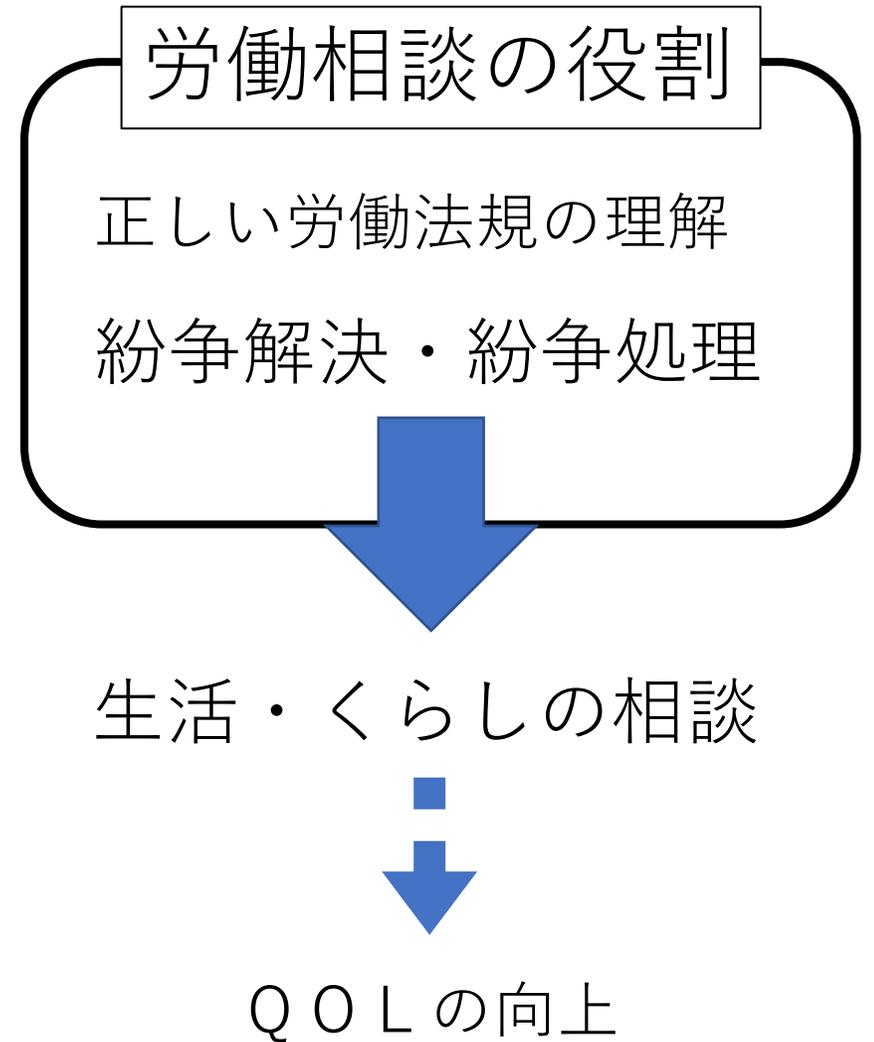
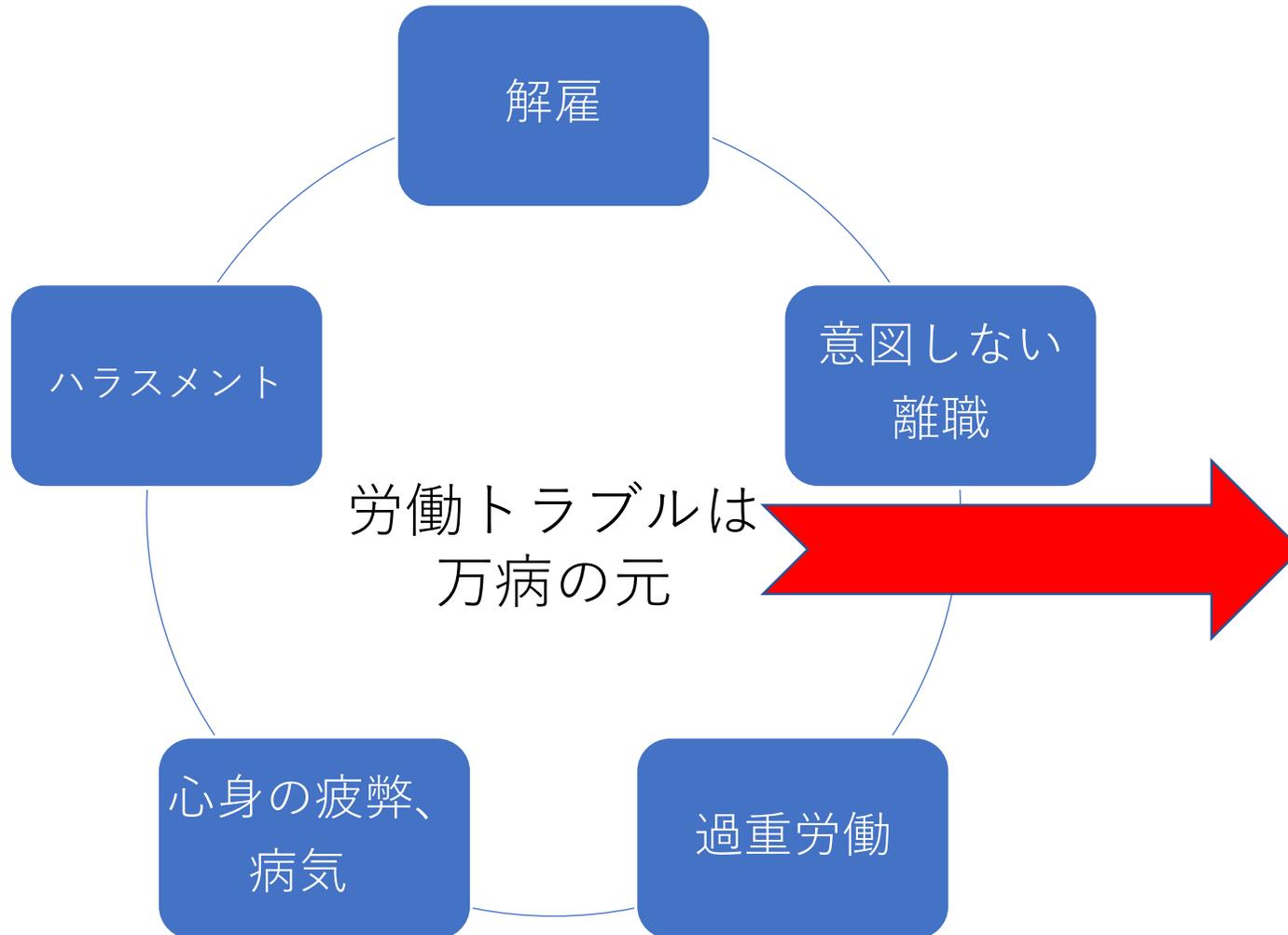


親から独立して豊中で働いている若い（子どものいない）世代は・・・  
社会的に孤立するリスクが高い



# 1.解決したい課題、実現したい未来

- 労働環境の改善から、QOL向上へ



## 2.これまでの取り組み

- 働いている人に豊中市の労働相談の情報が届かない

### ■ 令和元年度の労働相談件数

相談の窓口	相談件数
労働局	131,444件
大阪府	10,121件
豊中市	303件

人口比率を考慮しても大阪府よりも少なく、大阪労働局からはかなり少ない

あなたの悩み 解決します

相談料無料  
日時:月曜、水曜、  
金曜日(祝日を除く)  
10時~12時、  
13時~16時

豊中市の労働相談  
豊中市では事業者の方や従業員の方へ無料で労働相談を行っています。従業員とのトラブルや上司からのハラスメントなどの労働トラブルに専門の相談員が対応いたします。

お問い合わせ先  
豊中市 市民相談部 くらし支援課  
〒580-0022 豊中市宮原南1-1-1  
市民情報センターくらしかんぽ  
TEL 06-6858-4463  
FAX 06-6858-5095  
kurashi@city.toyonaka.naka.jp

情報発信に試行錯誤はしているが効果が実感できない状況

4市連携 NATSの労働相談窓口

西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市の4市は、同じ1151という通称しななを掲げ活動しています。4市のみなさんは各市の相談窓口を利用できます。相談しやすさを1つに活用ください。

☑このようなお悩みはありませんか？

- 失業について: 求職から来てくれない、お断りされたけど、これは解雇されたこと？
- 労働時間について: 残業がめんどい、休みの日や土曜日も働かされている、時間外手当は出るの？
- ハラスメントについて: 私が働いているので私かしてワハラ？
- 給与について: 会社が倒産してしまえば、お給料はどうなるの？

☑相談しやすい窓口を

☑NATSとは

☑各市の労働相談窓口(祝日(西宮市以外)と年末年始は閉鎖していません)

自治体	相談窓口の概要	所在地	電話番号・URL	事前予約
西宮市	毎月水曜日:10時~19時 毎月土曜日:10時~19時	西宮市松原1-1-17 勤労者支援センター くわがっぴあ12階	0799-32-7170 相談室	不要 (20時~24時 06-6561027)
尼崎市	毎月火曜日:水曜日:金曜日 12時~19時	尼崎市宮原南1-1-10 出雲館10F(3階) 尼崎市こども支援センター	06-6430-7635 くらし支援課	必要 (土日祭日)
豊中市	毎月水曜日:水曜日:金曜日 10時~12時、13時~16時	豊中市文化センター3-3 生活情報センター くらし支援課	06-6858-6863 生活情報センター くらし支援課	不要 (18時~24時 06-6851027)
吹田市	毎月水曜日:水曜日:金曜日 12時~19時	吹田市宮原南1-1-10 吹田市労働者支援センター (3階)	06-6384-1365 労働経済課	必要 (土日祭日)

隣接中核4市「NATS」で連携  
労働相談市境越え対応  
多い往来、利便性向上

日・朝刊(2021年11月11日) 10頁

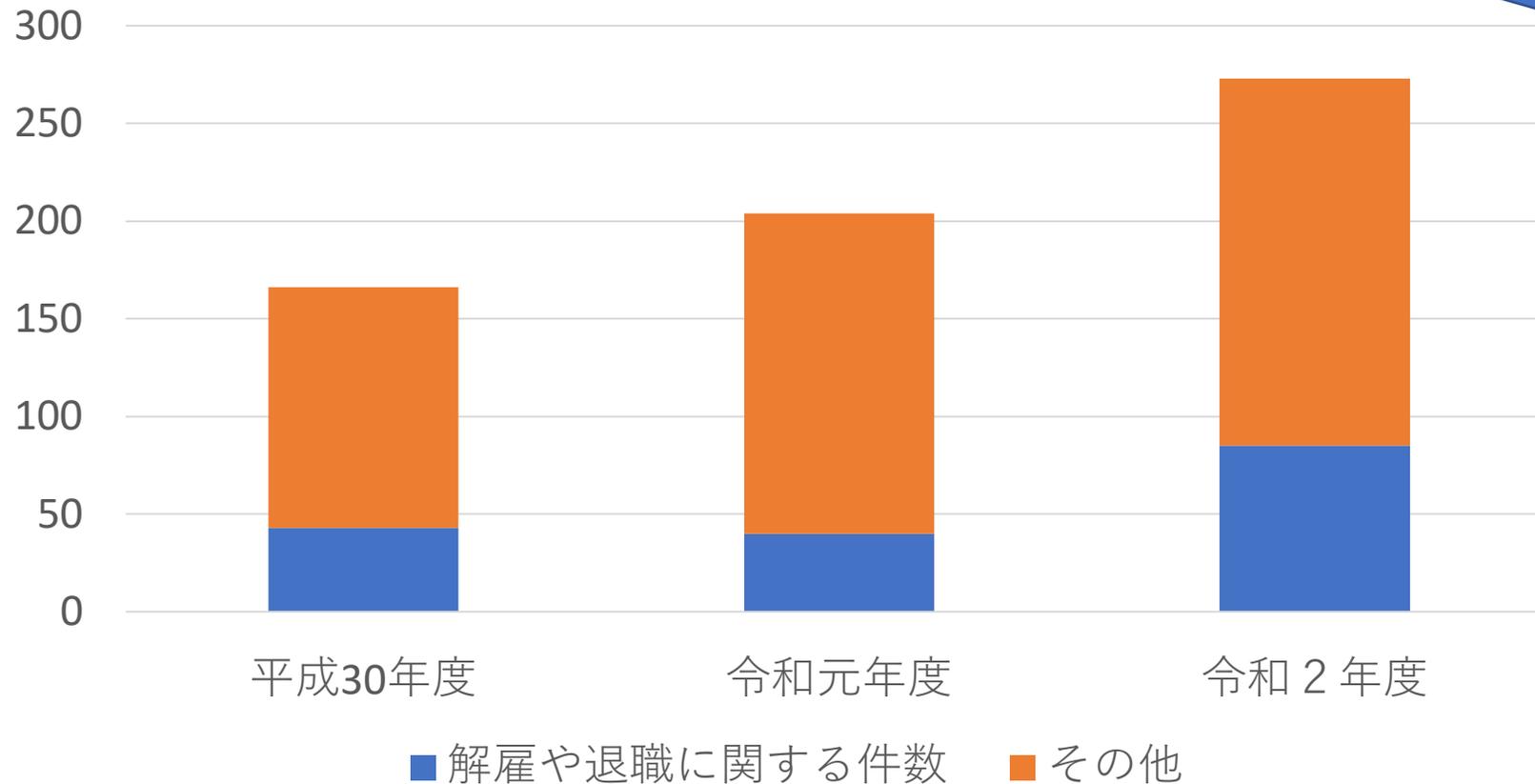
豊中市、西宮市、尼崎市、吹田市の4市は、同じ1151という通称しななを掲げ活動しています。4市のみなさんは各市の相談窓口を利用できます。相談しやすさを1つに活用ください。

「NATS」は、4市が連携して、労働相談の窓口を連携し、市境を越えて対応できるようにしています。また、4市の労働相談窓口は、それぞれ異なる時間帯で開業しているため、市民の利便性を高めるために、4市が連携して、労働相談の窓口を連携し、市境を越えて対応できるようにしています。

## 2.これまでの取り組み

- 状況が厳しくなってから相談に来る人が多い

労働相談件数と解雇や退職に関する件数

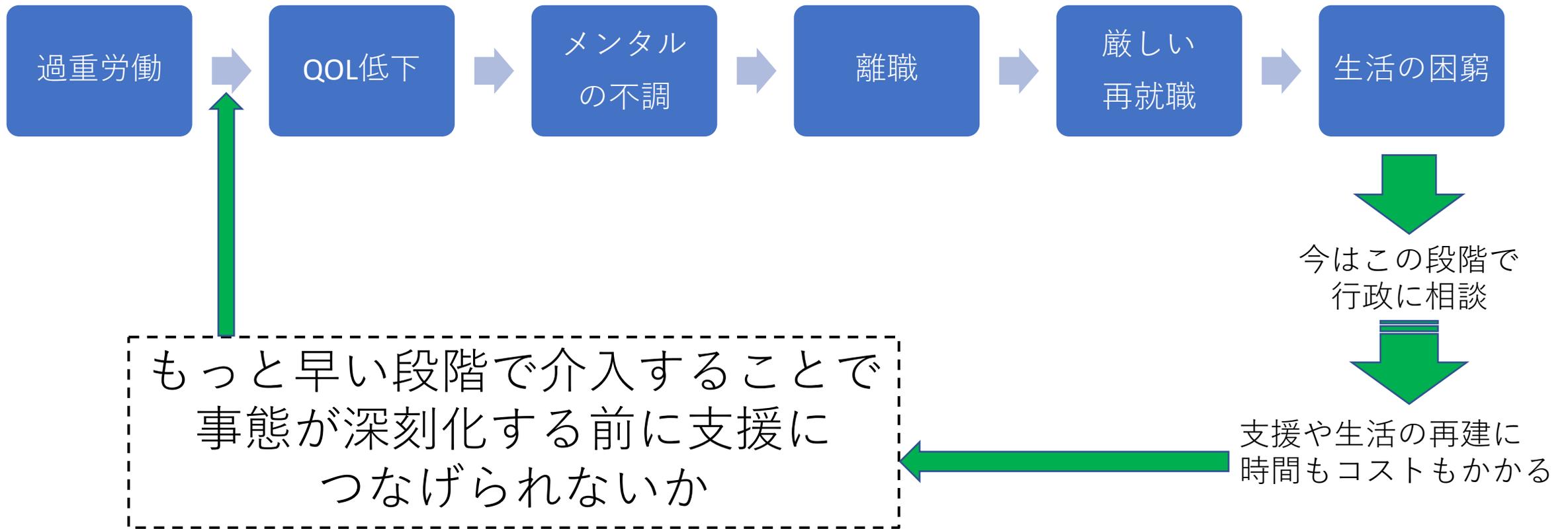


相談の4分の1から5分の1くらいは、解雇や退職に直面してから相談に来ている

### 3.今回取り組みたいこと

- 早期に行政に相談することで、生活困窮になることを防ぎたい

< 過重労働から生活困窮へつながるイメージ >



### 3.今回取り組みたいこと

- 働いている人に、自分の身を守るための情報を届けたい

例えば、以下のようなデータを元にして、PUSH方式で伝えると  
働いている世代にも届くのではないだろうか

- 本人のSNSへの投稿
- 家庭にあるIoT機器の稼働状況
- 携帯電話などの位置情報
- 夜間の移動データ など

どの程度相談窓口や  
支援制度利用に  
つながったかを検証し  
効果的な手法を見極め

## 4.実証実験で達成したいゴール

- 潜在的に労働問題を抱えている人が早期に相談につながる

現在くらし支援課では生活に困窮している人の支援をしています、

**生活困窮で苦しむ人を減らすため**に、

一緒に考えていただけませんか

